

## 2024年度 1級実技（面接）試験 具体的展開力強化（傾聴不足CC視点不足の指導法）講座

傾聴不足の事例相談者やCC視点不足している事例相談者への方策を考えます。

日時		会場		会員	一般		
東京	2024年11月16日（土）	9：30～16：30	11/16日：全電通会館 御茶ノ水 11/17日：全労連会館 御茶ノ水	受講料 (税込)	2日間受講早割	36,000円（キャンセル不可）	
	2024年11月17日（日）				2日間受講	40,000円	46,000円
					1日スポット受講	22,000円	25,000円

本講座は1級実技（面接）試験の「具体的展開力」をテーマにした講座です。

1級面接試験の評価区分では、「具体的展開力」の内容として、以下の3点が示されています。

### ① 事例相談者の問題を解決するために、適切な目標を設定し、効果的な指導を企画することができること

問題を解決するための目標を提案し（事例相談者に確認しながら）納得してもらう。事例相談者視点の問題と事例指導者視点の問題を合わせて目標を提案し、納得してもらうプロセスを示す。**面談の目標について、合意**を目指します。

### ② 事例相談者に対して、適切でわかりやすく、理論的・具体的な説明を行うことができること

事例相談者は、実務経験が2年であることを踏まえると、展開する方策の内容は、キャリアコンサルタント視点の問題把握のポイント、傾聴の重要性と技法の確認など、基礎的・基本的なもので良い（必ず、具体的に実施すること）。

NG「コーヒーカップ理論」の内容や「システムティックアプローチ」のプロセスや内容を説明することが方策ではない。

NG例：システムティックアプローチのプロセスを知っていますか？最初は何ですか？養成講座で学びましたよね？

NG例：コーヒーカップをご存知ですか？カップの部分はなんですか？左は何を示していますか？→コーヒーカップの理論を教えている

### ③ 指導プロセスにおける個々のセッションの中で、事例指導者が企画した指導方法を効果的に遂行するために専門的な介入を行うことができること

問題を解決するための方策を、事例相談者に確認しながら、一緒に進めていく（事例指導者の一方的な説明ではなく、やりとりをしながら展開していく）

本講座では2日間で評価区分の3点の解説と、30分のロープレでどのように方策を実行するかケースを使って考えます。

■傾聴が不足している事例相談者に傾聴力をつける方策

■CC視点不足していると思われる事例相談者にCC視点で見立てることを伝える方策

（重要）目標に合意を得ることは必須条件です。合意を得るためには正しい見立てと気づきを促すことが必要です。そのためには関係構築が基盤となっています。システムティックアプローチのプロセスすべてが重要であり、試験官はそのすべてを評価しています。

- ・1日目は傾聴が不足している人への方策を学びます。
- ・2日目はCC視点を目標にした場合の方策を学び、引き出しを増やしてください。